三十日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯印刷人 森合英

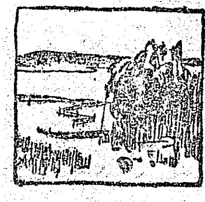
配給と國民生活（上）

鵜沼孝昌

一個人の生活構造を反省することに依つて國家生活の全体の構造が判るといはれてゐる如く、我々の生活は國家生活の基礎をなしてゐる、いふまでもなく生活は消費である。ゆゑに計畫經濟下の國民生活はこれに隨つて計畫化されねばならぬ、即ち消費側のいはゆる消費生活の計畫化といふことから出發しなければならぬのである。これを具体的に云へば一戸毎に家計の豫算表を作り之によつて生活の水準を下げねばならない、しからば自家は何を何程消費したかは生活統計に表はれる筈である。それを基礎として水準を下げた配給機構を作らなければ眞の配給たるは不可能ではあるまいか。

なぜなれば配給といふものは生產を豫想したものであるところが從來何を何程生產するか（投資の問題で資力配分である）といふ根本問題は配給と何等關係なしに作られてゐる、しかしこれからは配給機構となつたのであるから生產といふことは配給を目當に作らなければならぬ、

現在經濟組織といふもの丶根本特徴は生產そのものが商業的に行はれてゐるといふところにある、しかるに配給機構のみが商業的でなくて、生產そのものがコンマーシャリズムであつた、



文藝

文明とは或意味に於て情熱の海邊に築かれた提防だと見る事ができます　（臨川）

愛兒に病まれて（上）

天津欣史

病む吾子にいよゝ隔離を告げたるは
げに先月の今宵なりしか

二十日の公休を迂つかりしてすつかり買置くのを忘れてしまひ、ウチへ歸つたとて日課の晩酌に有りつけ無い自分は隔離舍歸りに寄つた〇屋はストーブにあたつて一人盃を重ね、空き腹に沁みる芳醇味に毎時乍らの法悦を感じ乍ら、徐ろに先月の今宵を憶ひ出さずには居られなかつた。そして餘人には何の事か見當もつかぬ樣な斯うした歌を口吟むのであつた。

○

この前と同じく右膝關節のうしろが疼むと云ふので、師走の二學期末に學校を休ませた三男が欠席三日目に顔から手足から、からだじう眞つ紅に發疹して居るのを見つけた妻は、一づにハシカと斷定して、自身負ぶつてS醫師の診察を求めた處、家內の素人判斷はがらりと外れて、一點疑ふの餘地ない猩紅熱だと云ふ事になつたのが過ぐる師走の二十日だつた。

その日の夕方勤め先で、事の經過を妹から電話された自分は、この降つて湧いた災難にいきなり鐵棒で腦天を毆りつけられでもした樣に、ガーンとして急に目の前が眞つ暗になつた。

○

病性の怖るべきを話して明日の隔離舍行きを告げた自分のおろ〳〵聲とは全く反對に涙一つ見せず、終始『ウム、ウム』と云つて靜かに頷いて居た彼の沈着振りには却つて父の自分が泣かされた。

『なあに直ぐ癒るんだから……』

と半ば咽び乍ら强ひて元氣をつけた上茶の間へ戻つてその事を話すと、暗然と炬燵に打つ伏してゐた妻は、

『可哀想にあした話せば良かつたのに』

と此際の輕擧を咎め氣味にいつたが、それが收容の直前に云つた方が良かつたかそれとも前以て豫備知識を與へた自分の遣り方が良かつたか自分にはかいくれ判斷がつかなかつたのである。

短歌

其日其時

七十六叟　磐陽

（五）義弟エムの急逝を悼みて　（其十）

義弟は賜藍綬章なる父翁の遺業を承け紀元二千六百年式典に綠綬章を拜受しければ

父の業　うけていそしむ　四十年に　名をばあげてし　君ぞまれなる

四十年を　いそしみ來てし　いさをしは　君の惠に　照り映えてけり

義弟は東京に於ける恩賜の祝賀會を前にして京都旅館に病むとき

榮えにける　大き式典の　賜物よ　譽の君は　旅に病むとは

祝言の　數々受けず　旅に病む　君いたましと　思ふ今日かな

連續講談〔112〕

異說赤穗浪士

桃川若燕　畵 城木喬

妻子を離別

『アッハッハッ……母上のお考へはお年同樣お古い〳〵成程一度は然うは思ひましたなれど今は左樣な心は微塵もございません、元來が御主君の御短慮から今日の悲境に立ち至つたもの、殿中に於て刄傷の曉は家は取潰し身は切腹とは國の掟でござる、それを御存知あり乍ら短慮を遊ばしたものゆゑアノ樣な事に相成つた、又吉良上野には上杉と云ふ大家を控へて居り、承はれば上杉家より附人として數多の者を吉良の屋敷へ附け置く由、殊に當年中に上杉家御在所米澤表へ御引移りに相成る噂、さすれば魚を大海へ放つやうなもの、痩浪人の四十五十、如何に約束致せばとて吉良屋敷の門一つ毀す事も叶ひません、仕損じて物笑ひになるより此山科へ住居を求め買入れてある田地田畑山林から上つて來るその代で安々其日を送り或時は高利で金子を貸し渡し利を計つても我一代榮華に浮世は送られまする』

『コレまだ然ういふ事を云うてゐなさるか、殿樣御生害の時も御舍弟大學樣御台樣へも一言の御遺言もない中に其方には呉々もの御遺言その上御肉通しの御短刀まで拜領なした事をよも忘れは致すまい、一時も早く仇討つて殿の御心安まるやう致して呉れ』

『イヤ夫れは出來ません、又考へても見ますれば吉良上野介はもう六十に手の屆いた御老体、人間僅か五十年、七十は古來稀と申しますれば長い處がもう十年我々ども討たいでも何時か一度は往生致します』

『コレ夫れではどうでも殿樣の思召を襲いで仇討の心はないと申すか』

『エヽ諄いお尋ね、何と仰せあればとて覺えない事は覺えござらん……』

『コレ內藏之助、軍用金と名をつけて殿樣御めぐみの金子をば其方の手に入れた事も末には高利を貸し付け、田地田畑を買ひ〆めて其利を以て榮華をなす心であつたか、此御方に對して何んと申譯を致すぞ』

伏紗を開いて取り出す冷光院殿御位牌を內藏之助の前へ突きつければ、その位牌を取るより早く庭の方へ投げ出し大口開いて冷笑ひ、

『アッハッハ、老人の佛いぢり殿樣の御位牌が何んと致した、假令母でも今日は內藏之助の厄介者無禮を致すとその分には捨て置かぬ』

『已れ心に天魔が魅入りしか余りと云へば情ない』

と投げ出した位牌を拾ひ顔に押し當て泣き伏す有樣、襖の蔭で聞き入る主稅良金は其場へ出るに出られず、面を伏せた儘途方に暮れてゐる。

『エ、よしはまだゐるか、早く出て行け』

『ハイ畏まりました、然う仰せがございますなら御別れ致します』

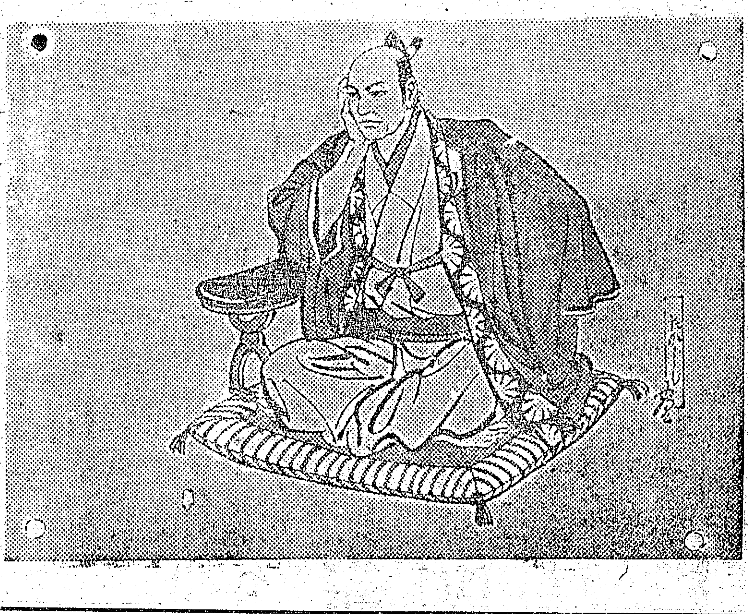
『吉千代と大三郎も連れて行け』

『ハイ連れて行けと仰せられずとも必ず連れて參ります、阿母樣も私がお連れ申して、豐岡の父のところへ戻ります母上お泣き遊ばすな、旦那樣はお氣が狂うて居られますゆゑ、何と申しても御解りがございません、今から豐岡へ御同道致します程に左樣御思召して下さいまし』

『よしや、お前が優しくして下さるだけ却て胸を痛めます

と嘆きの內に內藏之助は料紙を取り寄せ細々と手紙一通認めて、寺坂吉右衛門を呼び駕の支度を申し付けて置いて老母に向ひ、

『母上もよしが同道するといふから早くお支度をなさいまし』



時局の生んだ新案特許
日の丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法…半紙節約ノ目的ニテ墨デ書イテ濡雜巾ニテ拭ツテ置ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案（メモ板 第二七七九〇四號／野球ベール 第一七九七三號／興亞ノート 第二四七九八號）
專賣特許 興亞厚紙 第(イ)一七三六〇號 第(ロ)一七三六一號
合資會社 興亞特許商事
同工場 月見町三三

お醬油は
鹽屋 山崎合名會社
味噌、醬油
たひら正宗
鰹節、食料品
明治生命磐城代理店
福島縣平市 電話 營業部一〇番 本店二一七番
山崎與三郎

肋膜。氣管支。關節。神經痛。肺炎。ロイマチス
扁桃腺・中耳炎・骨膜 腰痛・ぢ疾に
漢方貼藥 生公華
濕布で名藥
藥價 二圓五十錢 四圓 八圓
平市五丁目角 專賣店 野邊藥局

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン サロン
營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店…午後十一時限り、
平市銀座街 電話五九二番

磐城セメント 小賣指定
大谷石小賣始めました
野內商會
平市南町 電話一一番

商券、公債 兩替、金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

手術室完備
外科專門 野村外科
小名濱町古港 元津村屋跡

外科 內臟外科 腦脊髓病科 外科
整形 醫學博士 松村亨 整形外科 レントゲン科 理學療法科
胃腸 內科 胃腸病科 肛門病科
性病 醫學得業士 松村鐵郎 花柳病科 皮膚科 泌尿器病科
松村醫院
平市南町 電一〇七

鑛泉と割烹
鐵道指定旅館 小瀧
電話（小名濱）一〇三番

平病院（元共濟病院跡）（電話四一番）
院長 醫學博士 鈴木定藏
外科主任 副院長 高橋俊幸氏
腎臟ニテ暫ラク靜養中ナリシモ今回全治、二月一日ヨリ再ビ診療ニ從事ス、
內科、小兒科 レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
內藏一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
藥劑部長 吉本幸平
毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に應じます 急患は此の限りにあらず

鳩尾加壓器
【說明書實驗例無代進呈】
鳩尾を落すこと
胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
一、鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です、
一、使つた其日からこれは効くぞと判るのが特徵です
製造元 東京 林健體會本部
頒布元 頒布所 阿康藥局 平市古鍛冶町一〇 電話四四番

入院隨時
根本醫院 産科 婦人科
平市南町 電話三四番
根本莊次郎
根本貞雄

小兒科 內科
◎入院隨時◎
酒井醫院
平市南町（電五五番）
醫學博士 酒井保

內科、外科
小兒科、花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
福島縣立代用精神病院 內務省指定
郡山腦病院
院長醫學博士 金磯五郎
郡山驛より約三丁 安積中學より五丁
郡山市外大槻村針生
（電話九二五番）
▽入院隨時△

內臟外科 泌尿器科 レントゲン科
▽入院隨時△
北川外科
平市新川町（電話四六四番）
醫學博士 北川芳夫

內科、小兒科 外科、花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科
高久病院
平市田町 電話五一三番
院長 醫學士 高久忠

外科（內臟、整形） 內科、皮膚科 花柳病科
石井醫院
小名濱仲町 電十八

産婦人科 外科、一般 花柳病科
【見習看護婦募集】
黑澤醫院
小名濱町小學校前 電四五
醫學士 黑澤廣

外科、內科 花柳病科 レントゲン科
草野醫院
小名濱町中島 電話一三七番

口腔外科 齒科一般
森合齒科醫院
植田町（電話七一番）
院長 森合芳男

口腔衞生 口腔外科 矯正科
鈴木齒科醫院
小名濱町銀座通り

大政翼賛會縣支部の中核體整備さる

石城郡、平支部も活潑に動く

大政翼賛會の本縣支部では中核体を爲す町村支部長並に郡市理事の指名を近衛總裁に申請中の處二十九日正式指令到達、縣支部から發表された、各郡市町村は何れも支部結成を急ぎ協力會議を形成するなど下部組織に着手することになり本縣翼賛体勢も漸やく本格的な活動に入ることに成つた

石城郡支部 は新たに任命された理事を以て郡市部を結成、平市團体事務所内に郡事務局を設置専任書記を置いて執務、郡協力會議は町村支部協力會議員並に各種團体代表、縣會議員等適當なるものを縣支部推薦し縣支部長これを任命する

平市支部 も今回任命された、市理事を以て支部を結成、事務局を常置庶務部及企畫部を設け活潑な治動を開始「市協力會議」には現在の常會委員がそのまゝ當る

尚今回指名された郡市理事は原則的に郡市協力會議員たることを得ない規程である

町村支部長並に郡市理事指名

平支部理事

△警防分團長山崎忠兵衛（三七）△辯護士市井茂（三三）△平商工會副會長豬狩庄平（五九）△縣會議員蓮沼龍輔（五〇）△醫師大森勇（三七）△行政區長野崎喜八郎（五〇）△市會議員萩原義雄（五四）△縣會議員關內正一（四五）△市會議員大嶺庫（四二）△助役伊藤秀吉（五五）

石城支部理事

△縣會議員四ツ倉町木村守江（四三）△縣會議員勿來町赤津庄兵衛（四七）△植田町長古川傳一（五五）△鹿島村長志賀直哉（五五）△小名濱漁業組合長水野政次郎（五七）△夏井村警防團長木田森之助（五五）△高久村農會長藁谷久太郎（三七）△陸軍中尉赤井村上野賴榮（三六）△入山炭坑務所長湯本町大貫經次（四六）△磐崎村鄉軍分會長瀧義勝（三五）

町村支部長

△泉村、志賀澤之助△渡邊村、高木善枝△山田村、大平芳介△植田町、古川傳一△錦町、大平菊次郎△勿來町、横山太一△上遠野村、永瀬幸太郎△入遠野村、上遠野庄九郎△田人外三ケ村組合、逸見光治△飯野村伊藤淺之助△夏井村、渡邊泰衛△高久村、本間武△豐間村、山野邊茂五郎△江名町、作山一枝△鹿島村、志賀直哉△小名濱、小野普平△玉川村、宮内久枝△磐崎村、瀧德也△湯本町、仲里顯太郎△內郷村、沼田濱之助△好間村、金成淺治△赤井村、草野三郎△永戸箕輪村組合、萩野倉太△澤渡三阪組合村、大竹治右衛門△神谷村、佐藤庄太郎△草野村、渡邊重彌△大浦村、木村淸治△四ツ倉町、新妻盛△大野村、木村織江△上小川下小川組合村、柴崎佐之吉△川前村、永山忠二

建國の意氣高らかに式典後市内行進

平市の建國祭行事決る

輝く2601年の建國を祝する平市の紀元節建國祭に關する協議會は三十日午後一時から平市會議事堂に開き、二月十一日の紀元節當日午前十時二十分までに各種團体、學生市民等第一校庭に集合左の順序で建國祭の式典を擧げ、終つて一萬市民參加市內行進することに決定、關係方面へ通牒を發した

△開式（喇叭）△國旗掲揚△國歌齊唱△宮城遙拜△默禱△式辭△宣誓朗讀△紀元節唱歌齊唱△萬歳奉唱△國旗降下（喇叭）

終つて各團体代表二名を二班に分け兩縣社參拜、引續いて次の四班から成る各團學生等の一萬余名が市內建國行進に移る

△第一班　第一、第三小學校樂隊、第二青年學校、第四小學校、北部青年團、愛國婦人會、國防婦人會

△第二班　第一青年學校、平商業、第二校、藤田女學校、石城産科婦看護婦學校

市役所、警防團

△第三班　少年團、青年團第一校、祐賢、女子青年、平婦人會、愛國婦人、國防婦人、磐女

△第四班　磐中、磐城青年校、第三校、平陽、片倉青年、家政學園、平看護婦學校、軍友會、傷痍軍人會

小名濱信組の定時總會

圓滿裡に議事進行

小名濱信用組合では二十八日午前十時より小學校講堂に於て第十八回定時總會を開催し草野新組合長の議長振りも鮮かに提案全部原案通り可決した、補欠中の理事監事一名宛の補充は監事小濱氏の理事昇格評定員藤社大一氏の監事の昇格も議長指名通り決定、常任理事報酬は従來六百圓以内であつたのが一千圓以内と値上げも異議なく贊成し、組合員の希望として理事一名増員も次回總會迄に實現する確答を與へ、事務所倉庫の建設も敷地決定次第着手する向を明答し、各種商工業組合との連絡協調の兩翼たるべき希望も同感の意を表した

小名濱の頰刺し新販路拓く

軍部方面へ月百トン契約

小名濱町の特産物たる鰯頰刺を軍部關係へ納入すべく信用組合で手續き運動中であつたが、この程、大量注文に接し一月より五月迄一ケ月百噸宛の納入契約を見た

この納品は乾燥さへ吟味すれば箱もサシも不用と云ふ裸渡しで手數が省ける爲明年度は一層大量の納品を製造業者とし要望してゐる

郵便局の等級廢止

二月一日から實施

遞信省では來月一日より各郵便局の一、二、三等の等級制度を撤廢することに成つたがこの實施に伴ひ平市並に石城郡下の二十八局が『二、三等局』とお別れをする譯だが鹿島村の郵便所、舊平窪村の郵便取扱所は昨年十二月末〃局〃に昇格してゐるため石城地方には一ケ所の取扱所もなく今後は單に「特別局」と「郵便局」の二制度だけと成つた

微に入り細に亘る海産物の統制要項

配給圓滑と闇値防止が目的

昨報、縣が二月十五日から實施せんとして業界の諒解を求めつゝある「福島縣生鮮魚介類乾物配給統制案」は第一章總則から第九章雜則に至る三十九ケ條から成り、縣産の生鮮魚介鹽乾魚の圓滑な配給と公定價格を遵守せしめ闇取引を防止することが目的であつて、縣の計畫に成る統制要項は至れり盡せりで一點非の打ち處無く機微を穿つた點には魚聯及海産物關係者も感嘆の聲を放つてゐる、即ち縣が實施せんとする統制々項は次の如きものである

縣魚聯…縣商聯…卸商組…小賣商組…消費者

縣內の海産物卸業者は凡て市町村を單位として企業合同し縣海産物商業組合を結成（この中に既設魚市場及問屋が全部吸收される）卸商組は縣商業組合聯合會に包含され一部門として仕入配給を擔當、其の地區内に配給所を設置する、小賣關係商業組合は配給所以外の場所から魚類を一切購入出來ないことになる、縣商聯は縣漁聯から委託を受けた魚類を配給所を通さずに販賣することが出來ぬ、縣漁聯は單位協同漁業組合から委託を受けた魚類は縣商聯に委託その指圖を受けぬ限り勝手に販賣を禁止される

前記の加く販賣系統が一元化する結果魚類は圓滑に流れ込み公定價格が嚴守される結果消費者は魚類に不足を告げることとなく安すい魚類を食膳に上せられる、これが縣當局の目論む海産商統制の目的で生産販賣、消費者側との緊密な連絡を圖る爲縣吏員、縣漁聯（生産者）卸商組、小賣商組、消費者代表を以て縣商聯統制委員會を設けることに成つてゐる

廻船は水揚げ回避漁業振興危し

憂慮される反對の理由

別項、縣の販賣統制に對し海産商側（問屋、魚市場等）側が何故に反對的な態度を持してゐるか縣當局も相當調査研究するの必要あるものと見られ實施に當つては愼重を期せないと思はぬ紛爭を醸すものと識者間に憂慮されてゐる、業界が統制に不安を感じてゐる點は「企業合同は容易に實現するとしても、魚類の流し込みが果して圓滑に行くか？縣の計畫は机上の理想論で既定通りの運行は困難であらう」と一貫した意見のやうである憂慮される主なる點を擧げると次の如し

◇憂慮の點

1、從來自由販賣だつた爲地船は勿論廻船も時の相場に依つて魚獲物を即賣し現金を受取つて直ちに次の出漁が出來た、然るに統制案は凡て委託販賣と成つて現金が七日過ぎぬと入らず代金決濟に異狀を來す、更に幾何に處分されるかの不安が伴ふ關係上廻船は殆んど縣内の港へ入らず地船でも努めて他縣の港へ水揚げする結果となる、小名濱港の如く五百萬圓の水揚中半額を廻船で占むる港は莫大な損失を招き港の發展を阻害すること甚しく、縣の漁業振興策にも及ぼす處大である漁聯側は地船を擁護する爲めにも反對意見で、縣內主要港は死活問題だとしてゐる

2、直接取引きは縣の內外を問はず許されない爲、各地の配給所（卸商組）から必要漁類と量を縣商聯に注文し商聯は縣漁聯に注文し縣漁聯は更に單位漁業組合へ通じ漁船から魚獲物を水揚げされると商聯の指示通り出荷する順序であるが、注文外の魚獲物があつた場合漁聯から商聯へ出荷を問合せ、更に配給所へ……配給所から商聯へ返事が行き更に漁聯へと照會や注文で寧ロ無く生魚類の處分に敏速を期せられるか？疑問とするところ

3、魚獲物の僅少な場合は注文に應じ切れず直ちに出荷されるが萬一豊漁が續いて港が魚類の山を爲したとき商聯の指圖で移出が急速且つ圓滑に進むか？

有力者の意見を綜合するに縣の統制要項を實施するには廻船や地船が他縣へ水揚げ出來ぬやう全國を統一することが先決問題で所謂統制せんが爲の統制は百害あつて一利なしと相當强硬な意見を述べるものが多い

素人記者の漫歩

（4）

平稅務署を訪ふ

吾等の納稅義務心を深む

稻　水　生

舊正月の二日、例年ならば初賣り初荷で殷賑を極める町も今年は一様に戸を下して所謂自肅休業をやつてゐる、ここに重大な時局の動きが現はれてゐる。小賣商の問題や、中小工業者の經營が種々と問題になつて居り、誰も彼も苦しい。しかも國費は增加する一方だこの重大時局を突破するためにはどんなに苦しくとも各人がより多くの税金を負擔して銃後の務を果して行くより他に方法がない、私は自肅休業の街を歩いてゐる中にふと今日は稅務署を訪ねて見ようといふ考になつた。

刺を通じ署長室に案內される椅子に腰を下して最初に感じた事は室が狭すぎるといふ事だつた。署長さんは川鍋孝藏氏、東京府下の農家に生れ今年五十二歳、人間として一番圓熟した人情の機微を何もかも知つてゐるといふ御年輩だ平稅務署には十三年の四月に東京稅務監督局からお出になられたのださうである。始めはひどく不愛相なお方のやうに思つたがぽつり〳〵りとお話しをやつてゐる中にくだけて來て親しみの念が湧いて來た。豫告もなしに闖入して來て何か話せといふのだから誰でも始めは固くならざるを得ないだらう。

平は住んで見ると明るくて住み好い所です、海は近いし、氣候は好いそれに物資も豐富だから生活は非常に樂です。口は惡いといふが人氣はさう惡い所があるとは思ひません。町も相當活氣がある方でせう、平市昨年度の國稅は一昨年に比し二割近く多くなり今年度はもつと多くなりませう。

稅額の多いのは縣下で福島若松、平の順序です、平市の國稅の主なるものは酒造稅で次は炭鑛があるために勤勞所得です。この市がもつと發展するには何よりも大きな事業を起す事が大切だと思ひます、平には大きい事業家は居りません、福島、郡山等の發展が大きい工場の誘致にある事は私が說明するまでもない事で小名濱町の發展なども日曹のやうな大きな工場が出來たためでせう。平にも大工場を誘致する事が大切だと思ひます。

◇

現在平稅務署には三十餘人の署員がをり、朝の八時半から晩の八時半迄事務を執り、日曜も第三日曜日に休むだけでやつて居るといふ事である。何がそんなにいそがしいのか聞いて見ると事變關係の稅制改正と特に十七年度から國稅になる家屋稅の賃貸價格調査がいそがしいのださうである最近の納稅成績はどうですかと伺を立てて見ると、「非常に好く完納に近い」とは結構な話である、最後に何か市民に傳へて貰ひたい事がありましたらと促すと、

一般人は稅務署の役人といふと稅金を多く取らうとでもするやうに誤解して稅額決定の調査などに非協力的の態度に出られる方もある此點の認識を改めてもつと我々の仕事に理解を持つていろ〳〵な事情を包まずに打明けて相談してほしいと思ひます、決して我々は人情を無視し各個人の事情を度外視して仕事をしてゐるのではないのですお互に氣持好く和氣靄々の中に事を運んでゆきたいと存じますとつて口を結ばれた。

納稅　これこそ我等の義務だ銃後民國は戰線にある將士の上を思うて喜んでその義務を果したいものだと思ふ。

カフエー新体制

享樂誘導廢す

女給さんも街頭進出

奉仕作業にも一役

華やかだつたカフエー業者も時勢に即應して業態を自肅し純然たる社交機關として、或ひは大衆の食堂として新生面を開拓すべく過般福島市に福島、郡山、苦松、平の四市組合長會議を開きカフエーの新体制について協議の結果職域奉公の實践要項を決定、女給さんは給料制度に更めて生活の安定を與へ、興亞奉公日や晝間の余暇を利用街頭に進出公共事業の奉仕作業や出征軍人遺家族慰問等を行ふべく現在の矯風會を改組「翼賛女子挺進隊」を結成することに申合せ平市を支部に內郷、湯本小名濱に支隊を組織して實践すべく平方部も準備を進めてゐる、平市內のカフエー業者は現在二十軒で女給さんの數はグツト減じ三十名內外に止まり營業方針を更新しない限りカフエーの經營に困難を招來する怖れある爲先んじて自肅を申合せたものである

◇

◇業者の自肅　時局の重大性に鑑み業者が覺醒、女子從業員は矯風會や國婦分會等結成出征軍人歡送傷病兵慰問、飛行機獻納等に協力銃後奉公の實績を擧げつゝ自肅して來たが今後は一層職域奉公に勉め節米運動、價格の統制、酒の制限などあらゆる角度から國策の線に沿はんとす

◇業態の淨化　營業時間の制限、ビール酒類の販賣制限等で業態は自然淨化された形にあるが今後一層純然たる社交場としての實体を見現することに努める

◇チツプ廢止　サービス料制定　從來のチツプ制度は客に不快を與へ風紀上にも兎角の原因を爲してゐたが俸給に依る安定收入とサービス料制定に依つて偏在した危險が解消する

◇社交慰安の機關　營業時間を嚴守、遊蕩を誘ふ室內裝飾を徹廢、レコード演奏にも注意を拂つて享樂的氣分を排除、食事室、社交場として健全な存在意義を高める

品不足に悩む馬糧自給策

滿洲種子を購入栽培

郡産馬組合主催馬糧栽培に關する協議會は三十日午前九時から平團体事務所に開き、平市及び郡下各町村關係者が參集、品不足から購入難と成つた馬糧の自給自足策として青刈、大豆、豆蜀黍の栽培に付いて協議、この種子を縣農會へ産地滿洲から購入方斡旋を依頼することに成つた

おちの良い　マルミ粉石鹼

火防宣傳の模擬演習

自動消火器性能試驗

日本防火協會主催、縣警防課警察署、市役所、警防團後援の實彈五キロ燒夷彈並に油類を使用した模擬火災演習は來月二日午後一時から平商業學校々庭に開き自動消火機の性能を試めすが當日は必ず一戸一人以上出席されたいと

宵のボヤ

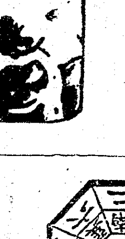
不良電氣器具が原因

二十九日午後七時頃平市新川町無職大塚タク（五〇）方から發火、押入並に布團を燒き大事に至らぬうち消とめた、原因は不良電氣機具の使用で漏電したもの、損害約二十圓程度である

小學生服配給

五年生用三四一着分

學生服不足に應へて市では今度第一回男子小學生服五年生用三百四十一着の配給をするが日附、單價、配給方法は近く決定する



今晩　北西の風晴れ勝の天氣

明日　北西の風日中は南の風晴れ勝の天氣

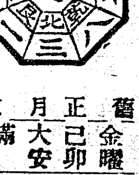
（卅一日）

滿潮　前六、五五　後六、一〇

干潮　前……　後〇、五五

〔映畫〕三十日替り

◇平館　◎松竹映畫、佐分利信、木暮實千代主演「新しき情熱」◎日活映畫井染四郎、岡野初美主演「山のロマンス娘」◎松竹映畫、阪東好太郎、伏見信子主演「新月隅田川」



舊正月五日　金曜　己卯　大安　滿　亢宿　新一月卅一日

▲一白　橫道に外るゝ時は意外の變あり眞直に進め

▲二黑　迷ふ事なく自己の信念に向ひ努力すれば吉

▲三碧　衆人の同情を失はざる樣注意せば安穩とす

▲四綠　輕卒の行動は深く愼むべし病難亦注意あれ

▲五黄　小成に安んぜず基礎を堅むることに努めよ

▲六白　計畫次第に進展して功果近きに現はるべし

▲七赤　甲斐無き外事に辛勞するより內を整ふべし

▲八白　期待せる事の次第〳〵に己に近づかんとす

▲九紫　圖る所意に叶はず齟齬多かるべし進退注意

平市慶弔錄

【死亡】平市新川町十三番地　小野サタ（八六）

興亞の晴衣　國民服

一着万能　職場に　儀場に　戰場に

カタログ進呈致します

平市銀座　大崎屋洋服店　電話九六番

家毎に神樣を祀りませう

檜製神明三社造　二、二〇ヨリ

桃製箱形造　二、八〇ヨリ

檜製大神宮造　五五ヨリ

三寶、神鏡、升入二福神各種其他御宮神器を陳列致しました

平市六丁目通り　本店千葉市電二、六〇七

さかいや商店

フクロク・ストーブ

入荷のお知らせ

◎久敷品切れ致し居りましたが此度少々配給入荷致しました

◎此度の入荷で當分入荷の見込みはありません

御入用の御方は品切れにならぬ中に成るべく早く御注文下さい

【御希望の方へカタローグ「公定價」を差上げます】

平驛前　阿部石炭店　電話37番、137番

味の司　トンかつ　料理　一の井

平三田小路　電一六七